



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6022 URL <https://www.akasaka-diesel.jp>  
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 杉本 昭  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL) 054 (685) 6081  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,495	△2.5	△141	—	△80	—	△88	—
2020年3月期第2四半期	4,612	△2.2	6	△96.8	32	△85.9	22	△85.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△67.04	—
2020年3月期第2四半期	15.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,680	7,737	66.2
2020年3月期	12,128	7,789	64.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,737百万円 2020年3月期 7,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	△13.1	△290	—	△200	—	△200	—	△150.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	1,540,000株	2020年3月期	1,540,000株
2021年3月期2Q	215,489株	2020年3月期	215,419株
2021年3月期2Q	1,324,566株	2020年3月期2Q	1,504,746株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	7
生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、社会・経済活動に大きな制限を受け、景気動向は悪化しております。国内外における感染症拡大防止策を講じつつ段階的な経済活動の再開が模索されておりますが、感染症の収束が見えない中、本格的な回復には依然として先行き不透明な状況で推移しております。

海運業界は、大荷主である国内製鉄会社の製鉄所の閉鎖計画等が新型コロナウイルス感染症による景気悪化の影響により前倒しされて荷役需要も減少している中、海運会社は船舶の環境規制への対応を探る姿勢が強く、新造船の発注に慎重な状況であります。

造船業界は、新造船需要が世界的に少なく、各造船所の大半が2021年納期までの受注であり2022年以降の受注確保に厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社の経営成績は、前年に受注した主機関の売上もあり売上台数は2台減で収まりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、営業活動の大幅な制限により部品・修理工事等をはじめ全体的に売上が減少しました。材料費等の変動費については、仕事量減少に伴い減少しましたが、減価償却費等の固定費については変動費ほど減少はせず、販売費及び一般管理費の試験研究費は環境規制対応のため増加する等、売上高減少に比べ売上原価や販売費及び一般管理費が減少しなかったことから、当第2四半期累計期間は、売上高4,495百万円（前年同期比2.5%減）、経常損失80百万円（前年同期は経常利益32百万円）、四半期純損失88百万円（前年同期は四半期純利益22百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は11,680百万円となり、前事業年度末に比べ447百万円減少いたしました。主な要因は、売上債権の回収による現金及び預金の増加（413百万円）、環境規制に対応するガス機関等の固定資産の増加（163百万円）等と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う営業活動の制限による売上債権の減少（578百万円）や、既受注製品の出荷による棚卸資産の減少（425百万円）等が多かったことによるものです。

当第2四半期会計期間末の負債は3,942百万円となり、前事業年度末に比べ395百万円減少いたしました。主な要因は、仕事量減少による仕入債務の減少（518百万円）等によるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産は7,737百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円減少いたしました。主な要因は、前事業年度末に比べ有価証券評価差額は増加（77百万円）しましたが、四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少（129百万円）等によるものです。

この結果、当第2四半期末における自己資本比率は66.2%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて419百万円増加し、当第2四半期会計期間末には1,958百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は577百万円（前年同期は401百万円の使用）となりました。これは主に、売上債権の減少額578百万円、棚卸資産の減少額425百万円等の増加に対し、仕入債務の減少額518百万円等の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は107百万円（前年同期比68.2%減）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出111百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は50百万円（前年同期比48.3%減）となりました。これは主に、長期借入金による収入150百万円の増加に対し、社債の償還による支出100百万円、長期借入金の返済による支出60百万円や配当金の支払額40百万円等の減少によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第2四半期実績及び今後の主機関の受注動向等を踏まえ2020年10月30日に通期の業績予想を開示いたしております。詳しくは、同日付け公表の「業績予想及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

配当予想につきましては、資金需要等を含めて不透明な状況が続くことから未定を継続させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,762,543	2,175,545
受取手形及び売掛金	3,468,246	2,889,853
製品	70,500	-
仕掛品	2,316,372	1,950,402
原材料及び貯蔵品	434,311	445,256
その他	53,406	32,484
貸倒引当金	△7,666	△7,460
流動資産合計	8,097,714	7,486,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,411,081	1,379,901
その他（純額）	1,411,657	1,486,578
有形固定資産合計	2,822,738	2,866,480
無形固定資産		
	97,675	97,857
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,135,313	1,254,618
貸倒引当金	△24,952	△24,370
投資その他の資産合計	1,110,360	1,230,248
固定資産合計	4,030,775	4,194,585
資産合計	12,128,489	11,680,668

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,351,868	1,833,029
短期借入金	275,052	305,048
未払法人税等	53,225	15,361
賞与引当金	137,600	144,500
製品保証引当金	173,738	213,207
その他	886,509	866,056
流動負債合計	3,877,992	3,377,203
固定負債		
長期借入金	289,803	349,773
引当金	40,980	46,520
その他	129,800	169,231
固定負債合計	460,583	565,524
負債合計	4,338,576	3,942,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,688,611	5,559,034
自己株式	△436,558	△436,660
株主資本合計	7,688,399	7,558,720
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,513	179,219
評価・換算差額等合計	101,513	179,219
純資産合計	7,789,913	7,737,939
負債純資産合計	12,128,489	11,680,668

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,612,025	4,495,435
売上原価	3,833,612	3,904,529
売上総利益	778,412	590,905
販売費及び一般管理費	772,036	732,279
営業利益又は営業損失(△)	6,375	△141,373
営業外収益		
受取利息	146	103
受取配当金	17,135	15,453
スクラップ売却益	9,926	5,316
助成金収入	5,600	20,937
その他	9,620	24,971
営業外収益合計	42,429	66,782
営業外費用		
支払利息	2,981	4,461
支払補償費	8,560	-
為替差損	3,917	-
その他	401	1,902
営業外費用合計	15,859	6,363
経常利益又は経常損失(△)	32,945	△80,955
特別損失		
投資有価証券評価損	-	5,145
特別損失合計	-	5,145
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	32,945	△86,100
法人税等	10,107	2,697
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,838	△88,798

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	32,945	△86,100
減価償却費	125,019	157,759
投資有価証券評価損益(△は益)	-	5,145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,803	△788
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,300	6,900
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,527	39,469
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△691	1,573
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	4,529	3,666
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	300	300
受取利息及び受取配当金	△17,281	△15,557
支払利息	2,981	4,461
売上債権の増減額(△は増加)	△269,229	578,393
たな卸資産の増減額(△は増加)	△218,944	425,525
その他の資産の増減額(△は増加)	3,136	△14,329
仕入債務の増減額(△は減少)	13,200	△518,838
未払又は未収消費税等の増減額	3,497	46,750
その他の負債の増減額(△は減少)	△94,867	△34,439
その他	0	790
小計	△412,828	600,681
利息及び配当金の受取額	17,281	15,557
利息の支払額	△3,032	△4,496
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,697	△34,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	△401,276	577,575
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△211,000	△211,000
定期預金の払戻による収入	217,000	217,000
固定資産の取得による支出	△343,099	△111,411
投資有価証券の取得による支出	△2,650	△2,228
貸付けによる支出	-	△500
貸付金の回収による収入	2,152	2,057
その他	△1,119	△1,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,716	△107,824
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,340	-
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	△45,231	△60,034
社債の償還による支出	-	△100,000
自己株式の純増減額(△は増加)	△155	△102
配当金の支払額	△44,425	△40,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,152	△50,748
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△838,145	419,002
現金及び現金同等物の期首残高	2,495,580	1,539,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,657,434	1,958,545

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,424,935	△5.8

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,192,187	△28.3	2,195,820	△52.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,495,435	△2.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。